



Wa!

Become friends with
children around the world.

TAKARA
TOMY
GROUP

タカラトミー
サステナビリティ推進室
2023年2月28日発行

*本Wa!マガジンの内容は、2023年2月28日発行時点となります。



従業員のチャレンジや多様性をOne TOMYでサポート!

ひとりひとりが輝ける 自分らしい働き方のヒント

2023年最初のWa!マガジンは、男性の育休（父親を対象とした育児休業や育児休暇）にスポットを当てます。育休は母親である女性が取得するイメージがあったかもしれませんが、現在では両親がそれぞれ育休を取得することへの意識が高まっており、自分らしい働き方・生活を実現する選択肢の1つにもなっています。そこで実際に育休を取得した男性社員とその上司に、育休の実情や本音をインタビューしました。今号がよりよいワークライフバランスやウェルビーイングに近づききっかけとなりますように!

取得経験者のTさんと上司のHさんを直撃!

男性の育児休業って実際どうなの?

Prologue >> 男性育休取得の国際事情とは?

日本の男性の育休取得率は2022年時点で13.97%とまだまだ低いですが、ノルウェーは取得率の高さに加えて育休中も80~100%の賃金を保証するほか、フランスでは父親の育休取得が義務化されるなど、各国で男性育児休業を推進する動きが活発になってきています。

育“休”だけど実際は休みじゃない

—今回はTCG事業部で「WIXOSS」のプロジェクトリーダーをされているHTさんの育休体験談を伺いつつ、同部署で上司のSHさんにご意見をいただければと思います。Tさんは男性の育休取得に対してどんなイメージを持っていましたか?

HT: 今回二人目の子どもの誕生に合わせて育休を取得しましたが、4年前に一人目が生まれたときは育休をとろうとは全く思いませんでした。当時は男性の育休取得が一般的ではなかったですし、異動したタイミングと第一子誕生が重なったので、まずは新しい職場環境に慣れることを優先して、育児や家事は妻に任せてしまいました。

—育休中の育児・家事の分担について、ご家族とどんなお話をされましたか?

HT: 分担については妻からあらかじめ具体的なリクエストがありました。「こんなにやることがあるんだ!?’とあらためて気付かされて、家事の大変さが身に染みしましたね。

—家庭内で育休取得を決めてから、実際に申請をするまでの流れは?

HT: 育休取得予定日の2、3ヶ月前に上司のHさんに話したところ快諾していただきました。そこから人事の方と、給料面やキャリア面を考えて、どのように育休制度を利用するのが最適なかを相談しました。その結果、子どもが生まれた直後の1ヶ月間は育児休業として取得し、それ以降はバラバラに有休やリフレッシュ休暇を取得して育児にあてるというかたちに落ち着きました。ちなみに申請にあたっての提出書類は思ったより少なく、手続き自体は難しくありませんでした。

—育休中は具体的にどのような生活をされていたのか教えてください。

HT: はじめは単純に子どもの世話をすればいいだろうと考えてたんですが、とんでもなかったですね(笑)。まず朝7時に起床。朝食を準備して、長男に食べさせて保育園へと送ります。戻ってきたら朝ご飯を片付けて洗濯機を回して干して、お昼ご飯の準備。昼食のあとは2時間ほど休憩が取れたんですが、15時くらいから洗濯物を取り込みはじめ、次男の沐浴をさせて夕食の準備へ。さらにその間に長男を保育園に迎えに行って、戻り次第夕食。そこから長男をお風呂に入れて寝かしつけて、夜間は次男が夜泣きするたびに起きて、

おむつを替えてミルクを用意して……

そうこうしていたらもう翌朝です。本

当に目まぐるしくて、正直普段の勤務時よりも一日が短く感じました。



SH: 生まれてすぐの1ヶ月は大変だよ。退院したての妻の体調も万全じゃないから、サポートもするし。育児休業といっても全然「お休み」ではないんですよ。「勤務していない＝休み」と思われがちですけど、人間の営みとして大切なことを毎日頑張っていることに変わりはないんです。

育児休業でチームの団結力も高まる!?

—申請手続き以外に、育休前に準備したことはありますか?

HT: チームのメンバーにお願いしておきたいタスクをまとめて、スムーズに仕事を引き継げるような準備をしました。みんな私の育休取得を快く受け入れてくれたので、彼らに迷惑だけはかけないように意識していました。

SH: Tさんの引き継ぎは完璧でしたね。正直、1ヶ月間まるまる彼が不在になるのは不安だったんですが、杞憂に終わりました。ただ若手をはじめ、みんながみんなTさんのように引き継ぎができるとは限りません。それをクリアするためには上司や先輩、同僚のサポートが大切。むしろ「引き継ぎが大変そう」「自分にできるかな」といった不安から育休取得に二の足を踏んでしまったら本末転倒ですからね。

—「仕事の進捗が遅れるのでは」「仲間に迷惑をかけるのでは」といった心配から、育児休業が取りづらいと考える人も多いかと思えます。

HT: その気持ちは分かります。でも私の場合は、不在だった間に自分が望んでいた以上のことをメンバーがやってくれて本当に助かりました。一方で、「自分がいなくても仕事はまわるんだ」という気づきにもなりましたね。もしかしらそれまで、仲間に任せられることを自分でやりすぎたのかもしれないです。

SH: Tさんの不在を経て、他のメンバーの仕事ぶりもさらに良くなったと思います。仕事やチームビルディングの面でも、育休取得

2022年10-11月に
1ヶ月間の育休を取得

タカラトミー
キャラクタービジネス本部
TCG事業部
企画マーケティング課 課長補佐
HTさん

2児の父。仕事と子育てに
日々奮闘!

タカラトミー
キャラクタービジネス本部
TCG事業部 部長
SHさん

週末の楽しみは、小学生の
息子と遊びに行くこと!

はメリットがあるのではないのでしょうか。

HT: 育休中は育児と家事に専念していましたが、職場から離れた過ごす時間が得られたことで、自分の仕事を俯瞰して見られるようにもなりました。

SH: 会社がマーケティング的にイメージする「子ども像」ではなく、実際に育児に専念しながら、目の前で本当の子どもの姿を知ることができるのは、タカラトミーの社員としてとても大切な経験になったと思いますよ。

—最後にこれから育休を取りたいと考えている人にメッセージをお願いします。

SH: 仕事は、その人の人生のほんの一部でしかありません。むしろ育休を通して仕事以外の物事に目を向けられるのは貴重だと思います。だから育休を取得したいと思ったら、気軽に上司に相談してほしいですね。あと育休について知りたいことがある場合は、ぜひうちのTさんまでご連絡ください!

HT: (笑)。私としては子どもとしっかり向き合えたことで、ひとりの人間として成長できたと思っています。子どものリアルを知れたり、実際に子育てをがんばっている親御さんと同じ目線に立てたのも貴重な経験でした。家族のためにもなるし、仕事に生かせる学びも得られる。その意味で男性の育児休業取得は絶対におすすめです!

育休のご相談は、各社の人事担当者へ!

2018年度の男性の育休取得率は0%でしたが、そこから徐々に取得する方が増え、2021年度の取得率はタカラトミー60%、グループ全体で20%まで上がり、会社全体の意識の変化が伺えます。今回は育休の特集でしたが、タカラトミーグループには介護休業制度もあります。これからも、仕事と家庭を両立できるような仕組みや雰囲気づくりに努めていきます! 部署の皆さんも取得しやすい雰囲気づくりや配慮のご協力をお願いします!

ダイバーシティタスクフォース・タカラトミー 人事部
MN課長(左)、YY主任(右)



男性の育休で
気になることがあったら
気軽に聞いてください!



育休は人生のプラスになることが多いと思います。周りに気軽に相談してみよう